

令和7年度 学校経営計画書

学 校 名	倉敷市立児島中学校
校長氏名	岡部 高之

○ 本校のミッション（使命、存在意義）

人格の完成をめざし、自分の力で考え、困難な問題をも解決していく、たくましい人間を育成する

○ ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

<指導の重点>

調和のとれた豊かな人間性と生きる力の育成

- ・基礎学力と家庭学習の定着・基本的生活習慣の確立・自主的な生徒活動の育成

<望ましい生徒像>

- ・意欲的に学ぶ生徒・思いやりのある生徒・自主的に活動する生徒・地域に愛される生徒

<望ましい教師像>

- ・気づく教師・動く教師・生徒を育てる教師

○ 当該年度の具体的な学校経営目標・計画

1 知・徳・体のバランスが取れた生徒の育成を目指す。

- (1) 時間を守り、あいさつや場に応じた適切な行動のできる生徒を育成する。
- (2) 自他を尊重し、感謝や思いやりをもった生徒を育成する。
- (3) 自分の将来に向けて主体的に学習に取り組む生徒を育成する。
- (4) 生徒会活動・委員会活動・部活動・学校行事等、積極的に活動をする生徒を育成する。
- (5) 誰からも愛される生徒を育成する。

2 教員としての資質・能力の向上を目指す

- (1) 授業5の徹底を図り、教師の授業力を上げる。
- (2) 生徒指導の視点を生かした授業づくりを実践する。
- (3) いじめ、不登校、問題行動を未然に防ぎ、全教職員で支える学級経営力を高める。
- (4) 担当する校務分掌で、適性や能力を十分に生かし、学校運営に貢献する。
- (5) 生徒支援、人権教育、道德教育、特別支援教育、積極的な生徒指導の推進を図る。

3 組織的な学校を目指す

- (1) 学習指導要領に示された標準授業時数を確保し、学力向上に努める。
- (2) 特別支援教育の充実と組織的な生徒指導体制の確立を図る。
- (3) 研究組織を再編し、魅力ある学校づくりを図る。
- (4) 教科会・教科主任者会を開催し、課題解決に向けた取組を組織的に行う。
- (5) 業務の無駄を省き、働き方改革について一層の推進を図る。

4 地域の期待に応える

- (1) 「地域の中の学校」という意識を醸成する。
- (2) P T Aと学校が連携し、子どもの成長を支える活動を共に考える。
- (3) 地域の人材や企業と連携し、多様な学びの場を創出する。
- (4) 地域清掃ボランティアの実施のみならず、青少年を育てる会の活動への参加や他校種と連携したボランティア等に積極的に参加する。
- (5) 地域行事への参加と協力をする。
- (6) 外部機関・地域と連携しながら、防災減災学習を実施する。